

夢 塾 だ よ り

～ ホームページからの発信 ～

(第12号) 平成30年6月19日



ホームページを作成してから1年になり、月1回のペースで出した「夢塾だより」も今日で12号です。あっという間の1年間、月日の経つ早さをつくづく思い知らされます。そこでクイズです。「太陽と月と火星が仲良く旅に出ました。一泊して翌日の朝、次の目的地に一緒に行こうと約束したのに、火星だけが取り残されました。なぜでしょう？」・・・お分かりですよ。月と日（太陽）が経つ（立つ）のが早いから。

今年の6月23日、糸満摩文仁の慰霊の日追悼式「平和の詩」で朗読されることになった港川中学校の相良倫子さんの「生きる」という詩が新聞で紹介されました。その詩の素晴らしいことに心震えました。全文を引用したいのですが私が特に感動した一節を皆さんに紹介させていただきます。

「・・・私は、今を生きている。
みんなと一緒に。
そして、これからも生きていく。
一日一日を大切に。
平和を想って。平和を祈って。
なぜなら、未来は、
この瞬間の延長線上にあるからだ。
つまり、未来は、今なんだ。・・・」

こんな詩が書ける相良さんの感性と知性と表現の豊かさ。心の優しさ。そして独創性。沖縄の子供たちが生きて、学んで、そして世の中を良くしていこうとする心の美しさ。なんと大きな人間愛に満ちたことか。相良さんを取り巻く大人たちがまた、素晴らしかったに違いない。とてもいい詩に巡り会えました。なんだかすべてに感謝したくなりました。生きることに勇気がもらえました。未来は今なんです。

つい先ほど、大阪で大規模な地震があり悲しいことに死亡者がでたとの報道、予断を許さない状況となっています。私たちの住む地球はこうした自然災害と常に向き合わなければならず、人間は大自然の中ではほんとうに無力なんだと気づかされます。少しでも被害の少ないことを願うばかりです。